

第7回文武両道杯全国高校柔道大会 要項 (10/3)

- 1 開催趣旨 本連盟では、日本柔道の基盤を支える高校柔道で、全国の高校の中から、柔道部活動を通じて 文武両道を実践する高校を招待する大会を開催する。本大会を通じて、柔道の持つ教育的価値を重視する文武両道を実現することを奨励して、全国の高校の柔道部活動のモチベーションの向上を図り、高校柔道への参加者の裾野を拡大させ、幅広い柔道人材を育成する。
- 2 日時 2025 年 12 月 13 日(土) 開会 9:00/閉会 15:30 (予定)
- 3 会場 講道館 (〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30)
- 4 主催 公益財団法人全日本柔道連盟
- 5 協賛 パーク24、ミズノ、近畿日本ツーリスト、東洋水産、セイコーグループ、コマツ
三井住友海上火災保険、日本航空、大塚製薬、東日本旅客鉄道、シミズオクト
大和証券グループ本社、ブイ・テクノロジー、エアウィーヴ、羽田タートルサービス、旭化成
ジャパンエレベーターサービスホールディングス、センコー、カントリーオフィス、ALSOK
日本通運、TPR、豆蔵 K2TOP ホールディングス、日本製鉄
- 6 協力 東京学生柔道連盟
- 7 日程 07:30 選手・監督入館 ※必ず講道館新館4階道場受付を通り、更衣室で着替えること
08:00 審判会議 7階大道場
08:30 監督会議 7階大道場
09:00 開会式
09:15 試合開始
決勝トーナメント前 技術指導 (全日本柔道連盟アスリート委員会推薦者を予定)
15:30 閉会式 (予定)
- 8 参加資格 (1) 本大会の選定委員会に諮って選定された高校が対象となる。
(2) 選手・監督は、2025 年度の全日本柔道連盟登録を出場する都道府県柔道連盟 (協会) を通じて完了している者であること。
(3) 参加チームの監督は、全日本柔道連盟公認指導者資格を保有していること。監督不在のチームの参加は認めない。
(4) スポーツ推薦・特待生制度を利用している選手は出場できない。
(5) 各校の部員数の状況に応じ、妥当な合同チームによる参加が認められる。
(6) 本大会に参加を希望する高校からの自己推薦を受け付ける。
希望高校が大会事業課から受付フォームの入手を行う。
- 9 試合審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規程を適用して大会申し合わせ事項 (真捨身技、横捨身技などの寝技への誘導技については柔軟に判断し、且つ上下の一方が攻撃する意思を示し効果が継続している限り寝技の攻防を制止しない、など。) による。
(2) 試合時間は3分間とする。
(3) 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差 (『指導』の差2)」とし、得点差が無く、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。
「技の内容」と「指導」の重みは【一本勝ち=反則勝ち>技あり>有効>僅差】の順とする。
- 10 試合方法 (1) チーム編成は次の通りとし、点取り試合とする。
男子：監督1名、選手5名、補欠2名
女子：監督1名、選手3名、補欠1名
(2) 3~4校ずつにわけ、リーグ戦を行う。
(3) 男子はリーグ戦1位のチームによる決勝トーナメント戦を行い、女子はリーグ戦各1位と2位のチームによる決勝トーナメント戦を行う。

第7回文武両道杯全国高校柔道大会 要項 (10/3)

(4) 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

【予選リーグにおけるチーム間の勝敗の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち数による。
- イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する。
- ウ) イ) において同等の時は、引き分けとする。

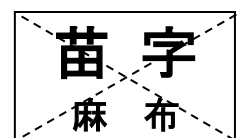
【予選リーグ内の順位の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち、引き分け、負けの数による。
- イ) ア) において同等の時は、勝ち数の合計による。
- ウ) イ) において同等の時は、勝ちの内容により決定する。
- エ) ウ) において同等の時は、負け数の合計により決定する。
- オ) エ) において同等の時は、負けの内容により決定する。
- カ) オ) において同等の時は、その試合に出場した選手の中から任意に選出して代表戦を行う。
代表戦は3分間の本戦を行い、得点差が無い場合はゴールデンスコア方式の延長戦によって決定する。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、又は「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。

【決勝トーナメントの勝敗の決定方法】

- ア) チーム間における勝ち数の数による。
- イ) ア) において同等の時は、勝ちの内容によって決定する。
- ウ) イ) において同等の時は、「引き分け」であった対戦の中から抽選で1組を選び、時間無制限のゴールデンスコア方式で代表戦を行い、勝敗を決する。
また、「引き分け」の対戦がない場合は、「両者反則負け」等で勝敗が決していない対戦の中から1組を選出する。なお、代表戦において「両者反則負け」等で勝敗が決まらない場合は、その代表戦を再試合とする。

- 11 参加申込み 指定のエントリーフォームを全柔連ホームページよりダウンロードして提出すること。エントリーフォームは10月30日(木)17時までにE-mailにて taikai@judo.or.jp 宛に送信すること。なお、申込み後の選手変更は、12月3日(水)17時までに上記E-mail宛に送信されたものまで認める。
- 12 前日練習会場 12月12日(金)13:00～16:00 まで、講道館新館5階「女子部道場」を使用することができる。
- 13 当日練習会場 12月13日(土)8:00～15:00 まで、講道館新館6階「学校道場」を使用することができる。
- 14 組合せ抽選 11月下旬に主催者が行う。
- 15 服 装 試合者は下記規格の白柔道衣を着用すること。
 - (1)柔道衣について
全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣を着用すること。
 - (2)帯について
国際柔道連盟公認マークまたは全柔連認証番号ラベル(“JU”と4桁の数字が入ったラベル)がついている帯を着用すること。
全柔連柔道衣規格合格品のリストは全柔連HPを参照すること。
柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。
- 16 ゼッケン 各自で下記の要領にて必ず縫い付けること。
 - (1)布地は白色とし、苗字を上部2/3、所属を下部1/3に記載すること。
 - (2)書体は楷書体とし、ゴシック体または明朝体を用いること。



第7回文武両道杯全国高校柔道大会 要項 (10/3)

(3)男子は黒文字、女子は赤文字とする。

(4)サイズは、横 30cm～35cm、縦 25cm～30 cm。

(5)後ろ襟から 5～10 cm 下部に縫い付け、対角線にも強い糸で縫い付けること。

17 表 彰 第1位から第3位(2 チーム)までを表彰する。

18 そ の 他 (1) 皮膚真菌症（トンスランス感染症）について、発症の有無を各チームの責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手は、迅速に医療機関において的確な治療を行なうこと。大会時に、選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

(2) 大会にて出場選手の傷害保険に加入し、その費用を負担する。

(3) 本大会の会場において事故が発生した場合、予め主催者が手配した医師、看護師等の医療関係者が応急処置を行ったり、医療施設への救急搬送の必要性を判断の上搬送を行い、または行わないことがあるが、これらの処置、判断等について故意または重過失が無い限り主催者、医療関係者は責任を負いません。

(4) 脳振盪対応について、選手及び指導者は以下の事項を遵守すること。

大会前1ヶ月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
大会中、脳振盪を受傷した者は継続して当該大会に出場することは認めない。(受傷した時点で必ず専門医を受診すること)

練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

上記のいずれかに該当する選手がいる場合、指導者は必ず大会事務局へ事故報告書を提出すること。

(5) 個人情報、肖像権の取り扱いについて

- ・参加申込フォームに記載された個人情報、競技結果、大会中に撮影された写真、または動画等の映像が、大会プログラム、競技会場内外の掲示板等、全柔連ホームページ、大会ホームページ、セイコースポーツリンクに掲載される場合がある。
- ・全柔連の許諾を受けたテレビ局等の企業により、試合を撮影した映像の中継・録画放送が、テレビ放映及びインターネット配信されることがある。また、その他報道機関等により新聞、雑誌、テレビおよび関連ホームページ等に公開される場合がある。
- ・大会時に撮影する映像（ケアシステム等）を、審判員および指導者の技能向上のための研修会資料として使用する場合がある。
- ・参加申込フォームに記載された個人情報については、上記の利用目的以外に利用しない。
- ・参加申込フォームの回答により、個人情報、競技結果、肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

《参加申込フォーム及び大会に関する問い合わせは下記まで》

〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館内 5 階 公益財団法人全日本柔道連盟 大会事業課 宛
Tel 03-3818-4392 Fax 03-3812-3995 E-mail taikai@judo.or.jp



以上